

## 飯福寺の発掘調査が おこなわれました

6月24日(金)、神領にある飯福寺<sup>いいふくじ</sup>において、鹿児島県立埋蔵文化財センターによる発掘調査の現地説明がおこなわれ、飯隈集落や歴史探学会おおさきの皆さんが参加しました。

同センターでは廃仏毀釈<sup>はいぶつきしゃく</sup>で失われた寺院の発掘調査をしており、6月1日から28日まで飯福寺照信院跡<sup>しょうしんいん</sup>の調査を実施しました。同寺からは寺院関係の仏具などの出土品や寺院の痕跡が発見されました。

町としては、これまでの文献資料に加え、今回の考古資料をもとに飯福寺を再評価するとともに、魅力を広く伝えていきたいと思えます。



## 小学生を対象に租税教室を開催

税の意義や役割を学んでほしいと、6月3日(金)、菱田小学校6年生11名を対象に税務課職員が租税教室を開催しました。

この租税教室は、国、地方自治体などで構成する「曾於地区租税教育推進協議会」の主催で、町内の小学校を対象に毎年実施しています。授業では、税の使われ方や税金を未納した場合の大変さなどを、クイズやDVD視聴を通して伝えました。

また、児童は札束見本品で1億円の重さを体験し、とてもにぎやかな講義となりました。



## ヒラメの稚魚を放流しました

6月3日(金)、東串良漁業協同組合の皆さんが、大崎町と東串良町の近海に、ヒラメの稚魚を放流しました。

今年は4,600尾を放流し、獲得量増大を願いました。

今年度は新型コロナウイルス感染症予防の観点から漁協組合員のみで放流を実施しましたが、例年、小学生などを対象に体験放流を兼ねて実施しており、水産振興と漁村地域発展にご尽力いただいています。